

令和8年度 廿日市市立原小学校グランドデザイン

子ども・保護者・地域・先生の Well-being を実現する学校づくり

【学校教育目標】  夢と希望と輝きをもつ児童の育成

【育てたい資質・能力】 自主性・主体性 思考力・表現力 自己調整力 自己有用感 協働性

【キャッチフレーズ】 「原小だからできる 原小でないとできない」教育の創造

「生きる力」を育む学校

●子どもが主役の学びづくり

- ・個別最適な学びを取り入れた授業づくりの推進
- ・少人数のよさを生かした指導方法の工夫と個の表現力を高める場の設定
- ・ICTを効果的に活用した授業づくりの推進

●情報活用能力の育成

- ・学習支援アプリを活用した授業づくりの推進
- ・学年別ICTスキルの定着
- ・デジタルシティズンシップ教育の推進

●ふるさと学習の充実

- ・ふるさと「原」を素材とした体験活動を重視した地域連携カリキュラムの充実と活動の充実

●自分の心と体を守る生活習慣の確立

- ・運動・休養・睡眠の大切さを発信（チャレンジウィズメディア・生活振り返り週間等）

●体力づくりの推進

- ・水泳記録会, マラソン大会, なわとび大会の実施

●読書活動の推進

- ・年間を通した読書活動の推進と読書環境の充実

「誰一人取り残さない学校」

●特別支援教育の視点を生かした取組の充実

- ・適切なアセスメントと支援の最適化
- ・ユニバーサルデザインの観点による手立ての工夫
- ・通級指導教室の学びと工夫を全体へ波及

●学校づくりの「当事者」の育成

- ・児童の参画による校則の見直し
- ・学校行事への主体的参画
- ・児童主体の集団遊び・外遊びの奨励

●学校組織として対応

- ・早期発見, 事実確認, 事案への適切な対応
- ・校内委員会の機能化・周知の徹底
- ・不登校支援の充実
- ・関係機関等の連携

信頼される学校

●つながり支援プロジェクトの推進

- ・基盤となる学級づくりの充実
- ・教育活動全体を通して自己有用感・居場所感を感じる場の設定（「かがやきの木」の取組等）

●職員のアイデアを生かした「働きがい改革」の一層の推進

- ・教職員の「やりたい」を実現していく職員室の雰囲気づくり
- ・業務改善を進めるための「紙面カエル会議」の実施と実行

●不祥事防止の徹底

- ・心理的安全性の高い職場づくりを通した不祥事の未然防止
- ・「自分事」として考える服務研修の充実

社会に開かれた学校

●地域とともにある学校づくり

- ・コミュニティ・スクールの運営体制の機能化と内容の充実
- ・地域行事への児童の主体的参加

●学校からの積極的な情報発信

- ・学校だより・ホームページの更新・メール・SNS等による発信
- ・個人情報の保護の徹底

【研究主題】 「学びが面白い」と思える児童の育成

～特別支援教育の考え方を生かした個別最適な学びの推進Ⅱ～